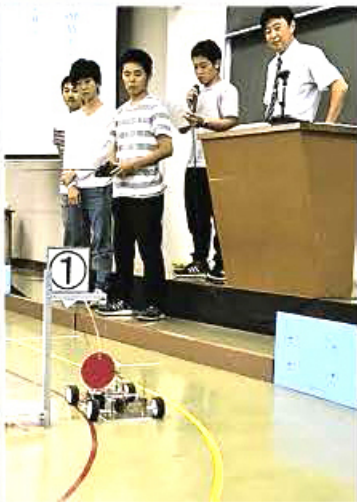


# 崇城大でロボコン 22チームが競う

標的にやりを当てながら軽快に走る  
ランサーロボット



熊本市西区の崇城大で、工学部機械工学科1年による学長杯ロボットコンテストがあり、学生たちが出来栄を競った。

ロボットをチームで製作

し、今後の研究への気つきにつなげてほしいと同大が企画。17回目の今年の課題は、無線操縦の車型「ランサー（やり騎兵）」（縦35

センチ、横25センチ、高さ25センチ以内）

で、1年生79人が22チームに分かれ、4月末から設計と製作を続けてきた。

7日のコンテストでは、各チームのロボットが円形コースを2分間、周回しながら五つの標的にやりを当てて得点などを競った。

優勝チームは、車輪を3輪にし、大きさをコンパクトにするなど工夫した。リーダーの重原涼介さん（18）は「みんなで力を合わせて優勝するのが新鮮でうれしかった」と笑顔を見せた。

（浜口妙華）